

わたくしたちの健康

慢性腎臓病

朝霞地区医師会 あかし まさかず 明石 真和

☎464-4666

はじめに

慢性腎臓病（Chronic Kidney Disease：CKD）は、何らかの原因により腎臓機能障害（尿異常所見やeGFRの低下）が3ヶ月以上続く状態のことを指します。日本のCKD患者は約1300万人といわれ、日本人の約10人に1人の方に何らかの腎臓機能障害が存在すると考えられています。

CKDは機能障害の程度によって、次の3つのパターンに分けられます。

- ①内服加療は必要とせず、摂生した生活を送ればほとんど進行しない
- ②しっかりした食事制限と内服加療を行えば、ある程度腎臓機能障害の進行を抑制できる
- ③厳格な制限と治療を行ったとしても、人工透析等の腎代替療法が必要となってしまう

CKDは初期の場合、ほとんど症状が出現しません。逆を言えば浮腫や高血圧などの症状が出現してから医療機関を受診される場合、③のようなケースである可能性があります。CKDは早期発見が重要であり、多くの場合、健康診断で指摘されるため、定期的な健康診断の受診をお勧めします。

慢性と急性

一方、慢性腎臓病（CKD）という疾患に対して、急性腎臓病も存在します。こちらは数時間～数日のうちに浮腫、高血圧、全身倦怠感等の症状が認められ、急速に腎臓機能障害が進行します。現在、このような病態は急性腎障害（Acute Kidney Injury：AKI）と呼ばれています。

腎臓機能障害の指標

健康診断で腎臓機能を評価する場合、多くは次の3項目が使用されています。

- ①尿所見
- ②血清クレアチニン値（Cre）
- ③推定糸球体濾過量（eGFR）

腎臓病はほとんどの場合、尿異常所見（たんぱく尿や血尿）

がいちばん最初に認められます。そして、尿異常所見を放っておくと、腎臓内で身体の老廃物を尿にこし出すフィルターのような働きをしている「糸球体」といわれる器官が壊れ始め、老廃物が身体に蓄積します。その中でも代表的なものが血清クレアチニン値（Cre）です。Creが上昇している場合、CKD疑いと診断されます。

また、最近では推定糸球体濾過量（eGFR）という指標が使用されるようになりました。これは、計算式に個人の性別、年齢、Creをあてはめて算出される値です。eGFRが60を下回ると糸球体のろ過する能力が低下したとされ、やはりCKD疑いと診断されます。しかし、この値は個人の体格によって差が生じるので、60以下でもCKDというわけではありません。

CKDの原因

慢性糸球体腎炎と糖尿病が原因になることが多いですが、高血圧や高尿酸血症も原因となります。また、身近な例として、消炎鎮痛剤（ロキソニン等）の常用も原因となり得ます。

CKDの問題

腎臓は物を言わない臓器の1つです。何も症状がないことから医療機関を受診せず、知らない間に腎機能が低下して結果的に人工透析が必要になった、というケースが増えていくことが問題のひとつです。

また、CKDは脳血管障害（脳梗塞、脳出血等）や心疾患（狭心症、心筋梗塞等）の危険因子になるということです。

透析療法が必要な患者さんを減らす、脳・心血管合併症発症を予防するという2つの意味で、CKD早期発見は重要です。

おわりに

現在、健康診断では腎臓病に対して厳しめの基準を設定しています。しかし、この疾患の早期発見や進行予防の重要性を考えますと当然のことです。早期に発見できれば大事に至らないこともあります。CKDの疑いがあるとされても、不安になることなく腎臓専門医にご相談いただければと思います。

日曜・休日に実施している医療機関

午前10時～午後4時

月日	場所	施設名	科目	電話(048)	場所	施設名	科目	電話(048)	
9	5	朝霞	村山クリニック	内、循内	471-1636	新座	ひまわり診療所	泌、内、外、皮	485-9788
	12	新座	平山クリニック	内、小、アレ	480-0248	朝霞	北あさか城北クリニック	整外、消内、肛、外、リハ	474-9066
	19	朝霞	あいかわ循環器内科・内科	循内、内	461-8585	志木	志木江原耳鼻咽喉科	耳	473-7929
	20	新座	小熊クリニック	消内	042-471-5098	志木	ここ肌クリニック	皮、精、心内	458-3956
	23	新座	玲子内科クリニック	内、消内	042-421-8800	和光	村山皮膚科クリニック	皮、アレ	464-5333
	26	朝霞	塩味クリニック	内、小	461-6100	志木	内田耳鼻咽喉科医院	耳、気、外	473-3387

日曜日、祝日に開局している薬局

下のコードから確認できます。



※当番医は変更になる場合があります。確認してからお出かけください。

休日歯科応急診療所

令和3年度開所予定／12月・令和4年1月（該当月の広報あさかに掲載します）

救急医療のお問い合わせ

●埼玉県南西部消防本部 ☎048-460-0123
●埼玉県救急電話相談 #7119(全国共通ダイヤル)または ☎048-824-4199 (ダイヤル回線、IP電話、PHS)